

幸せます 健康くらぶ事業

山口県 防府市役所
健康福祉部 高齢福祉課

山口県天然記念物 向島の蓬菜桜

事業の特徴

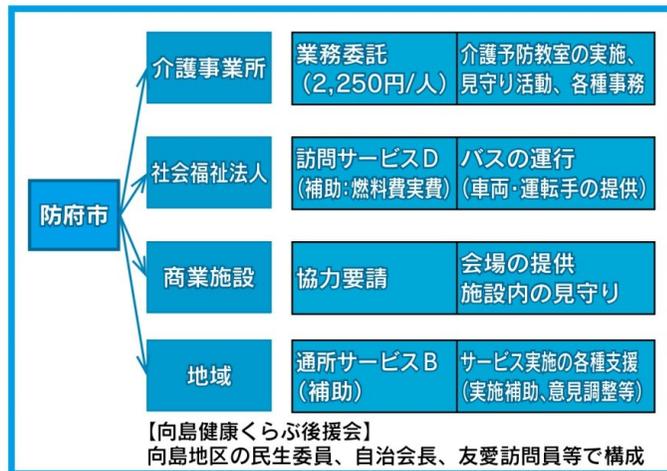
- ・介護予防と買物（移動）支援を一体的に提供するサービス。
- ・通所サービスA（委託）、通所サービスB、訪問サービスDを組合わせて、ひとつのサービスとしている。
- ・介護事業所、地域、社会福祉法人、民間企業の協働により実施。
- ・地域ケア会議での議論から協議体に繋がり、実証実験を行うことで作り上げた。
- ・これをきっかけに介護予防教室が増えたり、他地域にも広がった。

防府市データ			
地域包括支援 センター設置数	直営	1	カ所
	委託	4	カ所
総人口	116,124		人
65歳以上高齢者人口 (総人口に対する割合)	34,995		人
	30.1		%
75歳以上高齢者人口 (総人口に対する割合)	17,611		人
	15.2		%
第7期1号保険料	5,779		円

利用状況（平成29年度延べ）			
全利用者	257		人
後期高齢者	245		人
男性	0		人
要介護 要支援	5		人
	252		人
認知症	0		人
独居	180		人

（協働する主体）

防府市通所サービス連絡協議会
社会福祉法人蓬菜会
向島「にしき」健康くらぶ後援会
（民生委員・自治会長を中心とした地域団体）
イオン防府店・イオンリテール中四国カンパニ
株式会社丸久



【背景】

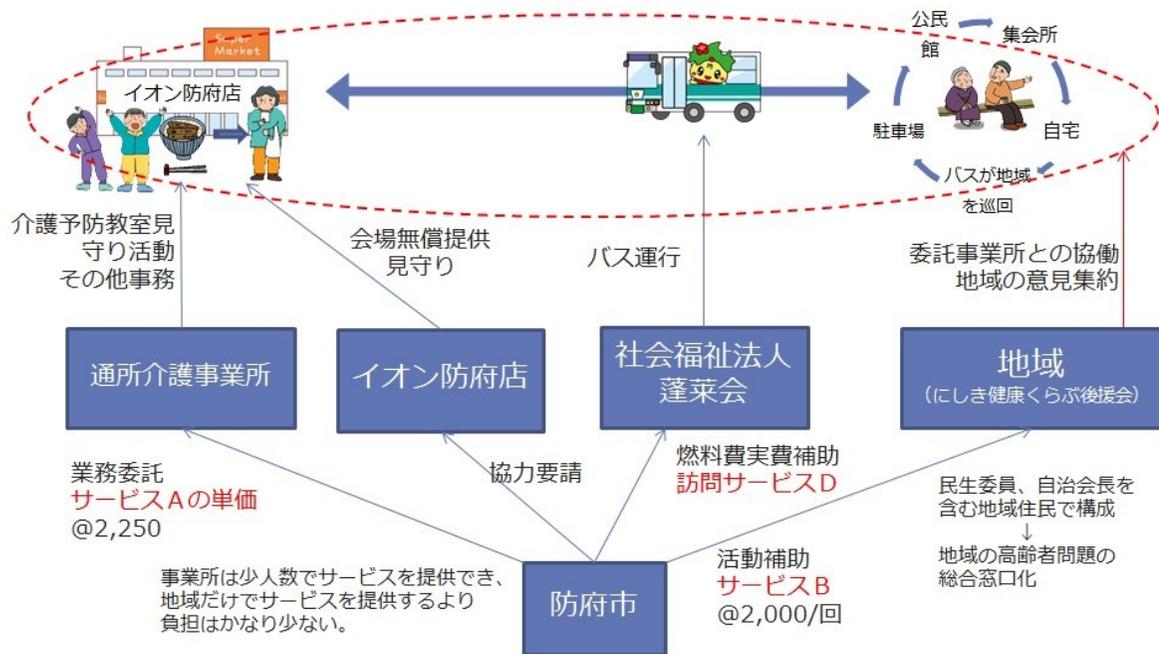
向島の地域団体は、高齢者の買物支援を課題と考え、地域包括支援センターでは向島地域の課題を閉じこもり防止と考えていた。

防府市は、市内全域において介護予防教室の普及を課題と考えていた。

【目的】

地域課題の買物支援に介護予防をコラボレートさせ、効率的・効果的に高齢者支援を行う。

総合事業を推進するためには、地域と介護事業所を含む他の主体との協働は必須と考え、市全域に総合事業・協働による住民主体サービスの有益性を示したいと考えていた。



【実施までの経緯】

向島地域で「閉じこもり予防」について圏域別地域ケア会議を開催した結果、移動支援を担う主体が見つかり、各主体が課題解決に向け、民生委員を中心に協議体を形成し、市の素案を基にテストを繰り返すことでサービスを作り上げ、H29年度に実施要綱を制定し、本格実施した。

【対象者】

- ①要支援1・2、事業対象者
ケアプランにより毎回参加
- ②元気高齢者 (65歳以上)
運営の手伝い(準備・見守り)をすることが参加条件

【参加料】 500円
(サービス費用の1割負担250円+障害保険料費用250円)

【タイムテーブル】

- 10:00 バスが地域を巡回開始、商業施設へ
- 10:45 介護予防教室
- 12:00 昼食 (昼食後、自由行動・買物)
- 14:00 商業施設を出発、バスに乗った地点で下車

参加者および利用者の状況の変化について

- ・当初、利用者は近所の顔見知りのみと会話をするような状況だったが、参加者全員がバスの中などで楽しく会話するようになった。
- ・当初は商業施設での買物やフードコートでの食事が上手くできなかった方が、手助けなくできるようになった。
- ・当初は買物を楽しみにされていたが、次第に介護予防教室を楽しみにされるようになり、また参加者や担い手との交流を楽しみにされるようになった。
- ・地域の担い手も当初は買物支援に重きを置いていたが、介護予防の重要性を認識するようになり、このサービスをきっかけに地域に介護予防教室が複数できた。
- ・利用者は、地域の介護予防教室にも参加するようになり、健康づくりの意識が強まっていて、身体機能の向上を実感する人が多くいる。
- ・担い手の社会福祉法人は向島で障害者支援施設を運営しているが、地域との連携が深まり、通院支援や困りごと解決についても地域と連携し検討している。
- ・この取組により、市内の他地域住民が社会福祉法人や企業との連携でサービスが提供できることを知り、2地域が平成30年度から実施。

活動の様子と利用者等の反応



送迎場所は担い手が決定（10か所）



介護予防教室は担い手も参加



フードコートに慣れました

買物では単独行動をしない約束

※全ての活動に地域の担い手が見守り等で関与しています。

普段あまり家から出ないのですが、友達に声をかけてもらって、参加してみてもよかったです。（Aさん）



- 幸せます健康くらぶに参加後の変化について～直近の意識調査の状況
 - ・地域の介護予防教室にも通うようになった（8割）
 - ・外出が増えた。（5割）
 - ・自宅でも身体を動かすようになった。（5割）
 - ・体の調子がよくなった。（7割）
 - ・幸せます健康くらぶに参加する理由は、全員が「楽しいから」で一致。
- 後援会の声
 - ・地域の高齢者の顔や体の状態を把握できるようになった。
 - ・知らない方との出会いの場になっている。
 - ・参加に後ろ向きだった人も「楽しかった」と言ってもらえる。
 - ・イオンまでの往復バス運賃より安い参加料も魅力。

当初からの指導員 Bさん



- ・つま先に力を入れて歩くようになってきた。
- ・体操中に「できない」と諦めることが少なくなった。
- ・立ち上がりスムーズに行えるようになった。
- ・身体が軽くなったと言う声を良く聞く。
- ・みなさん、オシャレをしてくるようになった。
- ・なによりも皆さん、回を重ねるごとに笑顔が増え、幸せます健康くらぶを楽しむようになりました。